

# 和

W a

2023 新春号  
Vol.63

- ◆「新年のご挨拶」
- ◆チーム医療の活動紹介  
「褥瘡対策チーム活動紹介」
- ◆治療最前線  
「形成外科の外傷について」
- ◆連携登録医のご紹介
- ◆栄養だより  
「減塩茶碗蒸して温活！！」





# 新年のご挨拶

## —いつまで続くか、新型コロナ—



大阪市立総合医療センター  
病院長 西口 幸雄



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、よき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より大阪市立総合医療センターをご利用いただきまして、職員一同心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス肺炎が始まったのは、もう3年前の1月です。現在は第8波の真っ最中でしょうか。丸3年になろうとしています。政府が打ち出すいろいろな対策にも国民はすっかり慣れてるようにも見えます。

当センターでは早くから新型コロナウイルス肺炎患者を軽症から重症にいたるまで、多くの患者を引き受けてきました。コロナウイルス患者を引き受けるには、多くの医師、看護師の協力が必要で、一般の病棟から医師、看護師をコロナ患者用に動員しました。そのため、複数の病棟を休止せざるをえなかったり、手術を制限したり、救急も制限せざるを得ませんでした。

当センターに課せられた役割としましては、「高度ながん診療」、「小児がんの拠点病院」、「がんゲノム医療拠点病院」などがあげられます。また、3次救急医療機関であり、とくに小児救命救急センターでもあります。またハイリスク分娩や高度な新生児医療を行える「総合周産期母子医療センター」です。このように当センターでしか治療できないような患者が数多くおられますので、コロナのためにそういった方々への診療が制限されてきたかもしれません。

がん医療や小児の急性期医療、3次救急や高度の周産期医療を引き受けるのは、当センターの役割として当然であると考えています。しかしながら、それと同時に、新型コロナウイルス肺炎患者に対しても、大阪市民や関連地域からの要請に最大限に応じなければならないと考えています。

コロナにつきましては、必要な人には早く検査ができ、必要な人には早く投薬・治療ができる体制を1日でも早く整えてもらいたいと願っています。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって、幸多く素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭にあたってのご挨拶とさせていただきます。



## ◆チーム医療の活動紹介◆

## 褥瘡対策チーム活動紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師 藤原 裕子

「褥瘡」とは「床ずれ」とも呼ばれています。これは、寝たきりで痩せの強い方、高齢で非常に皮膚の弱い方などが、長い時間同じ姿勢で寝ていると体重で圧迫されている部位に長時間の圧迫が加わり、その部位の血流が悪くなるため傷ができてしまうことをいいます。また、治療に必要な酸素マスクや小児の点滴治療で使用するシーネ、血のかたまりができないよう装着する弾性ストッキングなどで発生した創傷は医療関連機器圧迫創傷と呼んでいます。

当チームではこのように、褥瘡発生リスクの高い方や、入院時すでに褥瘡を保有している方に対し、皮膚科医師・看護師・管理栄養士・薬剤師など多職種メンバーと協力し、それぞれの専門性を活かしながら褥瘡予防や治療にあたるのが私たちチームの役割です。

みなさんは皮膚・排泄ケア認定看護師（以下WOC）という言葉聞いたことがありますか？私たちは、ストーマ造設や褥瘡などの創傷及び失禁に伴って生じる問題に対して、専門的な技術を用いて質の高い看護を提供する看護師でチーム内では中心的存在として活動しています。

褥瘡発生リスクの高い方には重点的な予防ケアが必要になります。そのため、私たちWOCがラウンドを行い、療養環境で必要なマットレスの調整や褥瘡ができやすい部位への皮膚ケアなどを病棟看護師と検討します。また、管理栄養士・薬剤師・病棟看護師とカンファレンスを行い、患者様に合わせた栄養評価や治療の検討・見直しを行っています。



▲褥瘡回診コアメンバー

みなさんは子供のころ「傷は洗ってはいけない」と両親から言われたことはありませんか？現在では「傷は洗ったほうが良い」といわれています。もちろん、洗ってはいけない傷もありますが、褥瘡は十分な泡で

綺麗に洗うことも早く治すためには大切です。

全病棟で褥瘡のある患者様は医師と回診をしています。先にも述べたように褥瘡は洗うことが大切ですので、回診では褥瘡を洗うことから始めます。その時に、病棟看護師の洗い方や、ケアで困っていることはないか、ケアが適切に行われているか確認し、必要に応じてアドバイスを行っています。また、入院中で過ごすことの多いベッドマットレスの調整やクッションを使用し安楽な体位も考えていきます。これらすべてが褥瘡治療に必要なことであり、病棟で統一したケアを行い1日でも早く褥瘡が治るようケアをサポートするのが私たちチームの役割です。

当院の褥瘡治療では、おもに創傷被覆材と呼ばれる大きな絆創膏のようなものを褥瘡部位に貼ります。しかし、お尻など排泄物と接触する部位や、創部に壊死組織が付着している場合などには傷に応じた塗り薬を使用しています。また、深い褥瘡の患者様には特殊な機械を使用する局所陰圧閉鎖療法（NPWT療法）を積極的に実施し早期褥瘡治療を目指しています。



褥瘡保有のままご自宅へ退院される方に対しては、在宅療養での安心につながるよう私たちが退院支援カンファレンスに参加し、ご自宅でできるケア方法の検討を行います。また、訪問看護ステーションとの連携や、外来通院時にはケア対応を継続し、退院後も褥瘡治療をサポートしています。

最後に、日本褥瘡学会では褥瘡推定発生率1.00%以下と掲げています。当院の2021年度の褥瘡推定発生率は0.49%であり、大きく下回ることができました。これは、褥瘡対策チームの活動の成果だと思っています。

今後もチーム一丸となり褥瘡対策の役割を担っていききたいと思います。



▲褥瘡対策チーム会の様子

## ◆治療最前線◆

## 形成外科の外傷について

形成外科・小児形成外科部長 羽多野 隆治

## 形成外科とは



まず、皆さんは、形成外科と聞いて、何を思い浮かべるでしょうか。例えば「お腹が痛いから内科に受診しよう。」とか「鼻が詰まるので耳鼻科に行こう」「目が腫れているから眼科に行こう。」など、多くの診療科は何かしらの具体的な病気が思い浮かぶと思います。

しかし、今、形成外科と聞いて、どのような病気を思い浮かべたでしょうか。実際、具体的に思いついた方は少ないのではないのでしょうか。もし、過去に形成外科にかかられたことのある患者さんであればやけどや傷など思い当たるかもしれませんが、かかられたことのない方は、美容外科を思い浮かべたのではないのでしょうか。

実際、美容外科とどう違うの？はたまた、整形外科や皮膚科とはどう違うの？というような声もよく聞きます。

日本形成外科学会のホームページを見ていただくと、「形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門領域」と記載されています。

これだけでは、あまりピンと来ないでしょう。

整形外科との違いは、整形外科的治療が機能予後に重きを置くのに対し、形成外科的治療は多くの場合整容的予後を重視します。

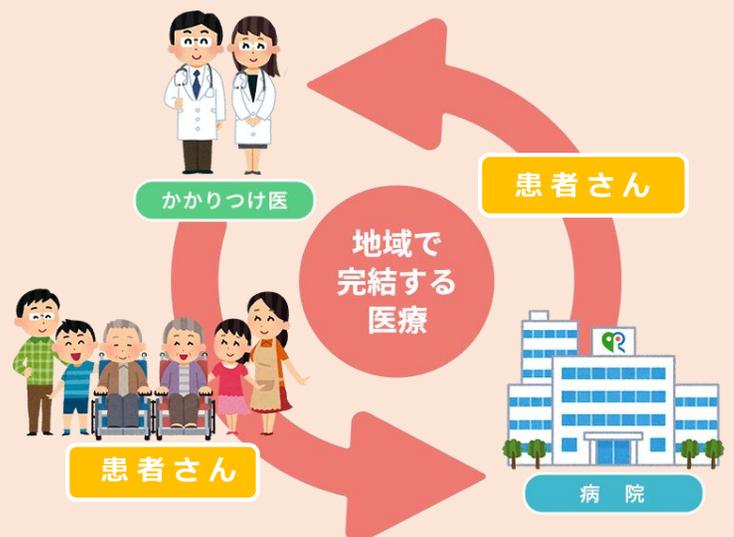
形成外科では外表面、つまり全身の皮膚や軟部組織（皮膚や脂肪などの浅い部分）の疾患を扱うことが多いですが、整形外科は体幹、四肢の骨に関する疾患を扱うことが多いです。

ただ、顔面骨に関してはより整容的予後が重視されることもあり多くの場合は形成外科が扱います。皮膚科との違いは、重なる領域も多いのですが、一般的に遊離皮弁（顕微鏡で血管をつなぐことで、遠くから大きな組織を移植する手技)などの高度な再建や顔面などの整容性が非常に重視される場合などは形成外科が取り扱います。

実際は、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍などどちらの科も取り扱う領域も多いので、いずれの科を受診されても、疾患に応じて院内で連携をとって対応しています。



▲形成外科メンバー



## 形成外科における外傷とは

形成外科における外傷といってもやけど（熱傷）やけが（挫創、切創、剥脱創など）きずあと（瘢痕、ケロイド、瘢痕拘縮など）顔の骨折（鼻骨骨折、頬骨骨折など）など多岐にわたります。そのため「やけどをしてしまった」「怪我をして縫合などの外科的な治療が必要ではないか診てほしい」「ぶつけて顔の骨を骨折したのではないか」「傷跡が目立つ、痛い」などの際は形成外科への受診をご検討ください。

**完全予約制の診療科**となりますので受診希望時は、ご紹介いただく **医療機関より予約の取得をお願いいたします。**



▲形成外科外来

### 外来担当表

〈完全予約制〉

紹介枠

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
耳介・再建外来		小児・唇裂・眼瞼	乳児の頭の変形外来	顔面骨折・眼瞼・小児		唇裂頭蓋顔面小児	唇裂頭蓋顔面小児	外傷瘢痕再建外来	乳房再建外来
坂原		能登	能登	升岡		能登	今井・能登	羽多野	升岡・坂原
処置・形成一般		処置・形成一般	頭部変形処置	処置・形成一般		処置・形成一般	処置・形成一般	処置・形成一般	処置・形成一般
鈴木	交代制	入江	交代制	谷畑	交代制	曾和	交代制	姜	交代制

●地域医療連携室（☎06-6929-3643）

## 形成外科で扱う疾患

### ・けが・きずあと

けが、やけど、顔の骨の骨折、ケロイドなど

### ・生まれつきの病気

早期癒合症、口唇口蓋裂、耳の変形、目・まぶたの変形、合指症など

### ・腫瘍

乳房再建、粉瘤、ほくろ、皮膚癌など

### ・その他

顔面神経麻痺、加齢性眼瞼下垂など

形成外科の疾患は多岐にわたります。  
詳細は当院ホームページや日本形成外科学会ホームページをご参照下さい。

美容外科との違いは、機能的な問題(傷跡が引きつれる、目が開きにくいなど)があるかどうか異なります。機能的な問題がなくても容貌にコンプレックスがあり、身体の一部を修正したり、加齢に伴う変化を改善したりするのが美容外科になります。

美容外科も形成外科の一分野であり、整容的な側面が重視される特性上、高度な形成外科的知識や形成外科的手技が必要です。ただ、**当院においては現在、保険診療しか取り扱っており、申し訳ありませんが美容外科の合併症も含め対応できません。**



# 連携登録医のご紹介 (五十音順)

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。



日常の診療・健康管理はかかりつけ医で

専門的な検査・治療は当院で

病状が安定したら再びかかりつけ医で

## ありもと耳鼻咽喉科

院長 有本 啓恵

診療科 耳鼻咽喉科、アレルギー科

住所 大阪市旭区赤川2-17-2 岸本ビル1階

電話 06-4253-3737



有本院長

### 院長あいさつ

耳鼻咽喉科は脳、眼、歯を除く首から上の疾患を扱う診療科です。

患者様に優しい医院を目指し、一人一人の方とじっくりとお話することから、はじめたいと思っています。どんな些細なことでも結構です。お気軽にご相談下さい。

専門はアレルギー疾患です。アレルギーには必ず原因があります。原因を調べ、症状を軽くするためのアドバイス致します。

また、鼻アレルギーの減感作療法(体質改善)も実施可能です。診察の際にお尋ねください。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	×	○	○
午後 (14:30~17:30)	○	○	○	×	○	×

※土曜の午後、木曜、日曜、祝日は休診

## 京橋さくらクリニック

院長 分野 正敢

診療科 内科、循環器内科、糖尿病内科、消化器内科

住所 大阪市都島区東野田町3-13-9

電話 06-6354-9000



医院外観

### 院長あいさつ

内科疾患の全般的な日常診療を行う上で、患者様にとって「話しやすい」「聞きやすい」「わかりやすい」医療が提供できるクリニックとして、スタッフ一同努力しております。

質の高い健康生活のサポートができるよう、糖尿病・高血圧などの生活習慣病から循環器(心臓)疾患や消化器疾患の診療を中心に、病気の予防/治療・健康の維持を目的とした健康診断も取り入れ、地域の皆様のかかりつけ医として全力を尽くしてまいります。

症状悪化のサインを見逃さず、安定した日常生活を送れる診療に努めておりますので、お気軽にご相談ください。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	×	○	○
午後 (16:00~19:00)	○	○	○	×	○	×

令和5年2月~午後の診療時間が15:00~18:00になります

※土曜の午後、木曜、日曜、祝日は休診

## しまだ循環器・糖尿病内科クリニック

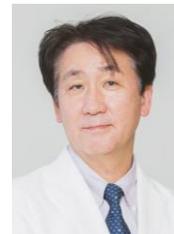
院長 島田 健永

診療科 内科、循環器内科、糖尿病内科

住所 大阪市旭区大宮2-17-14

アイリス千林大宮3F

電話 06-6958-5575



島田院長

### 院長あいさつ

当院で必要な検査を完結させて、エビデンス(科学的根拠)をもって診療・診断にあたらせていただきます。

今後ご高齢の方の間で増えると考えられる心不全の管理は大病院にありがちな1~2ヶ月に1回という通院では難しく、1~2週間に1回の通院といったようなきめ細やかな診療が必要になります。患者様のお住いの地域で専門知識と経験を持った専門医が診療にあたるべきだと思い、期間的にも中身的にもきめ細やかな診療をお届けすることで毎日の健康を見守らせていただきます。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	×	○	○	○
午後 (16:00~19:00)	○	○	×	○	○	△

※ △14:00~17:00 水曜、日曜、祝日は休診

## 焦クリニック

院長 焦 昇  
 診療科 内科、小児科、循環器科、胃腸科、リハビリテーション科  
 住所 大阪市旭区大宮4-9-39  
 電話 06-6957-2222

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (17:00~20:00)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜の午後、日曜祝日は休診



焦院長

### 院長あいさつ

専門領域として循環器病、動脈硬化、高コレステロール血症、糖尿病、肥満治療、痛風の治療を行い、往診や訪問診療、訪問看護ならびに小児科急性疾患に力を注いでいます。確かな医療を基礎として、思いやりと家庭的な雰囲気をお大切にした地域の皆様に信頼される診療を行っています。生活習慣病の予防や病気の早期発見のために人間ドック（内科一般、癌検診、循環器検診）、健康診断（会社検診、海外留学検診）ニコチンパッチにより禁煙指導（保険適応）も行っております。

## 橋爪医院

院長 橋爪 誠  
 診療科 心療内科、内科、アレルギー科  
 住所 大阪市都島区都島中通3-4-5  
 電話 06-4253-3337

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:30~12:30)	○	○	○	○	○	○
午後 (17:00~19:30)	○	×	○	×	○	×

※火曜、木曜、土曜の午後、日曜、祝日は休診



橋爪院長

### 院長あいさつ

当院では風邪、腹痛、高血圧、糖尿病、禁煙指導など一般内科診療はもちろん、喘息発作、花粉症、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患も対応しています。さらに、心療内科的治療が可能で、患者様の希望に沿い、症状や体調に合わせて、漢方薬、森田療法などを治療の選択肢として取り入れています。院内は明るく自然色を基調としたレイアウトで、バリアフリー構造でプライバシーに配慮した温かい雰囲気の医院です。周辺の総合病院など地域で連携しながら医療体制も整っています。

## 本出診療所

院長 本出 肇  
 診療科 内科、外科、胃腸科  
 住所 大阪市北区同心1-8-3  
 電話 06-6353-0012

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○
午後 (16:00~18:30)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜の午後、日曜、祝日は休診



本出院長

### 院長あいさつ

地域のかかりつけ医として、皆様の健康管理に携わり、良質な医療、細やかなサポートで安心・信頼の医療を目指し納得のできる医療を提供できればと思います。在宅医療は平日午後行っています。設備も充実しており胃内視鏡、エコー検査も行っていますので体の不調や悩み、各種検査などお気軽にご相談ください。患者さんと医師およびスタッフがとても身近に感じることができるアットホームなクリニックです。

## 森下眼科

院長 森下 清文  
 副院長 森下 清太  
 診療科 眼科  
 住所 大阪市北区天神橋5-6-13  
 電話 06-6353-1399

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	×	○	○
午後 (14:30~17:30)	○	○	○	×	○	×

※土曜の午後、木曜、日曜・祝日は休診です。



森下院長

### 院長あいさつ

当院は、平成3年に天神橋5丁目で開業させていただきました。そのころよりVisual eye clinic（見える医療）を掲げ、診療にあたっております。検査で得られた画像を見ていただきながら説明する診療です。新規のコンタクトレンズ処方を行っています。眼鏡処方につきましては、一度診察を受けていただき、後日の予約で処方させていただきます。できる限り患者さんに寄り添った医療を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

栄養  
だより

# おいしく減塩「乳和食」！！シリーズ③

## 減塩茶碗蒸しで温活！！

●●● 栄養部 對馬 和

今回はレンジで簡単にできるミルク茶碗蒸しのご紹介です。生姜を入れることによって風味が増すため、さらにおいしく食べられます。また、生姜は保温効果をもたらすため、低体温や風邪の予防にも効果的です。ぜひお試しください♪

### 【～生姜香るミルク茶碗蒸し～】

一般的な茶碗蒸し（食塩：1.2～1.6g）と  
比較して食塩量が半分！

<栄養価：1人あたり>

エネルギー：92kcal

たんぱく質：6.3g

脂質：5.5g 炭水化物：5.8g

食塩相当量：0.6g 食物繊維：0.8g



### 生姜の秘めた成分「ショウガオール」

- ・「ショウガオール」は加熱調理することで産生する辛味成分
- ・体を芯から温め、冷え性を予防する効果がある
- ・アドレナリン分泌を促進させ、脂肪燃焼にも効果的



### 材料（1人分）

- ・えのき 7.5g
- ・しいたけ 5g ・えりんぎ 5g
- ・卵 ½個 ・牛乳 75ml
- ・麵つゆ（2倍濃縮） 小さじ1弱
- ・生姜のしぼり汁 小さじ1
- ・三つ葉 適量

### ～作り方～

- ①えのきは食べやすい大きさに割り、しいたけとえりんぎは薄切りにする
- ②卵を溶きほぐし、牛乳、麵つゆ、しょうがのしぼり汁を加えてよく混ぜる
- ③②を茶漉しで漉しておく
- ④耐熱性のカップに①を入れて③の卵液を注ぎ、三つ葉を適量のせる
- ⑤ふんわりとラップをして200Wの電子レンジで5分加熱した後、500Wに変更して様子を見ながら1分加熱する。卵液が固まったら完成。（調理時間：10分程度）

●外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。



## インフォメーション

令和5年2月16日（木）～3月2日（木）  
第7回慢性腎臓病(CKD)セミナー  
WEB開催決定！



- 今回はさくらホールではなく、WEB講演会になります。詳しくはホームページで確認をお願いします。

大阪市立総合医療センター

検索

### ◆がん相談支援センター

がん患者さんやご家族からのがんに関する相談をお受けしています。一人で悩まず、気軽にご相談ください。相談は無料です。匿名の相談も可能です。

電話 06-6929-3632(直通)

窓口 病院 1階 総合医療相談窓口

受付時間 平日 9時～16時（年末年始を除く）



■発行責任者：大阪市立総合医療センター

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

地域医療推進委員会委員長 山根 孝久

<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>